Operation Guide 4396

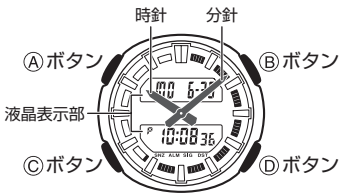
CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※リコールモード、ハンドセットモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

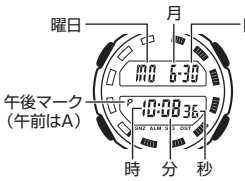
※本書の表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。

時刻モード



※ グラフィック表示は、現在時刻の「秒」に連動して、点灯／消灯を繰り返します。

●液晶表示部の見方



※ Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

ストップウオッチモード

1/100秒単位で99時間59分59秒99（100時間計）まで計測できます。



リコールモード

ストップウオッチモードで計測／記憶したデータを確認できます。



タイマーモード

1分単位で24時間までセットできます。（減算計測は1秒単位）



アラームモード

月・日指定ができるアラームが３本あります。（アラーム１のみスヌーズアラーム切替え可）



デュアルタイムモード

時刻モードの時刻とは別に、海外時刻などもう1つの時刻をセットできます。



ハンドセットモード

アナログ針の時刻を合わせることができます。



操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

●操作音のON／OFF設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓒボタンを約3秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。
※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。
※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すと、ライトが点灯します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。



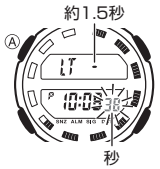
■ご注意■
●直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
●ライト点灯中に操作音やアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
●ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

●ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡秒が点滅します。

2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します



➡Ⓑボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。
※ ‐ ＝約1.5秒間
⋮ ＝約３秒間

3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

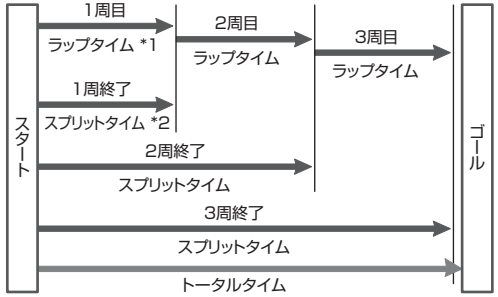


➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

本機のストップウオッチは、「ラップタイム」、「スプリットタイム」、「トータルタイム」の計測が行なえます。
・1/100秒単位で99時間59分59秒99（100時間計）まで計測できます。
※計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。



*1 ラップタイムとは、任意の区間（例えば、周回競技の1周）に要する時間を指します。
*2 スプリットタイムとは、スタートから任意の地点（例えば、周回競技の2周目終了地点）までに要する時間を指します。

＜計測結果の記憶について＞
ストップウオッチモードでの計測結果は、スタート操作からストップ操作までを一つのレコードとして、最大60個まで本機へ記録されます。その際、計測を行なった月日曜日がレコードタイトルとして一緒に記録されます。
記録データは、リコールモード（「リコールモードについて」参照）で見ることができます。

●表示切替え

ラップタイム計測かスプリットタイム計測かによって、表示される内容が違います。

＜ラップタイム計測＞
上部：ラップタイム
下部：経過時間

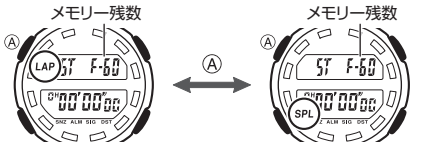
＜スプリットタイム計測＞
上部：ラップタイム
下部：経過時間（スプリットタイムが記録されると8秒間、スプリットタイムが表示される）

なお、計測開始後に切り替えることはできません。計測を始める前に切り替えてください。

ストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを押します

➡下記のように、表示が切り替わります。



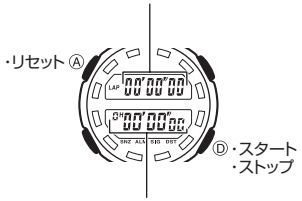
■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。
※計測中はグラフィック表示が点灯／消灯します。

ストップウオッチの操作を開始すると、分、秒、1/100秒を示します。
ストップウオッチ計測時間が60分を超えると、時、分、秒表示に変更します。

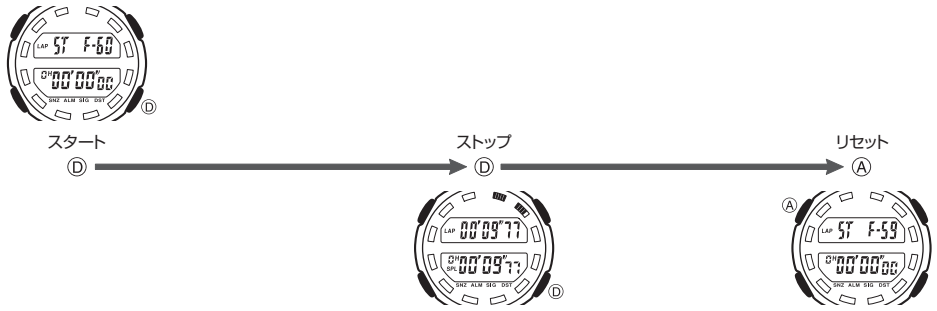


ストップウオッチの操作開始時には、分、秒、1/100秒を示します。
ストップウオッチ計測時間が10時間を超えると、時、分、秒表示に変更します。

★計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

通常計測は、ラップタイム計測でもスプリットタイム計測でも行なえます。

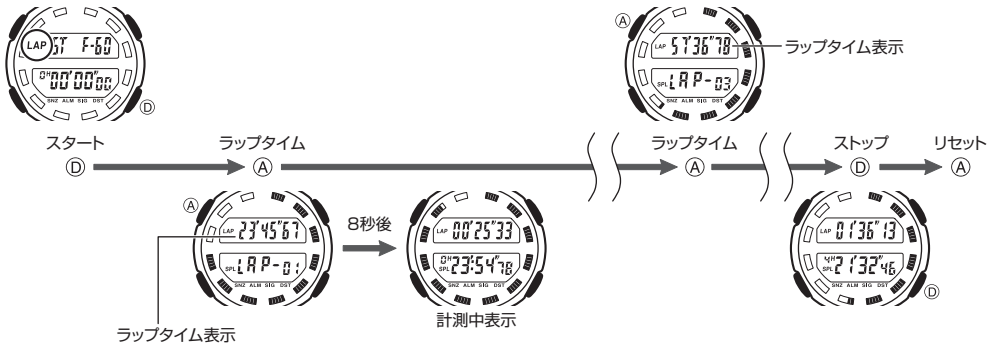


＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

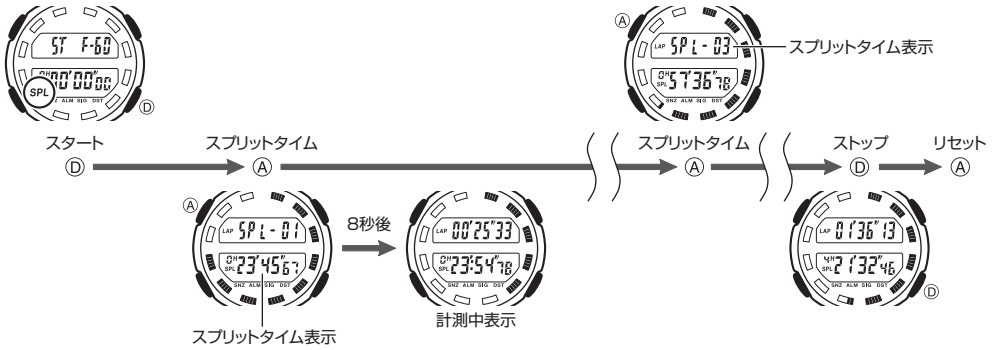
※ストップウオッチモードで計測したタイムは自動的に記憶され、そのデータはリコールモード（「リコールモードについて」参照）で確認できます。

●ラップタイム／スプリットタイムの計測

〈ラップタイム計測表示〉



〈スプリットタイム計測表示〉



※ストップウオッチモードで計測したタイムは自動的に記憶され、そのデータはリコールモード（「リコールモードについて」参照）で確認できます。

●1・2着同時計測

スプリットタイム計測表示にします。

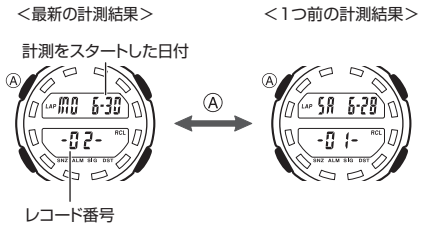


※ストップウオッチモードで計測したタイムは自動的に記憶され、そのデータはリコールモード（「リコールモードについて」参照）で確認できます。

リコールモードについて

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、リコールモードにします。

ストップウオッチモードで計測／記憶したデータを確認するモードです。ストップウオッチモードでの計測結果は、スタート操作からストップ操作までを一つのレコードとして、最大 60 個まで本機へ記録されています。

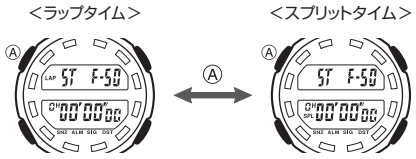


・メモリーの残量が無くなると、ストップウオッチモードで計測を行なうごとに、一番古い計測結果が自動的に消去されて、計測中の最新の計測結果が記憶されます。

■保存されているレコードの確認

1. ストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき、確認するレコードに対応した表示（ラップタイムまたはスプリットタイム）を選びます

➡Ⓐボタンを押すごとに、表示が切り替わります。



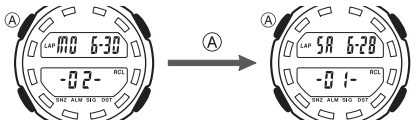
※ストップウオッチモードでラップタイムとして記録した内容をスプリットタイムとして保存し直す場合は、ここでスプリットタイム表示を選びます。

2. Ⓒ ボタンを押します

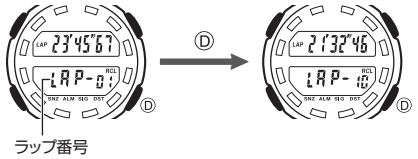
➡リコールモードになります。



3. Ⓐ ボタンを押して、確認したいレコードを選びます



4. Ⓓ ボタンを押して、レコード内の記録データを選びます

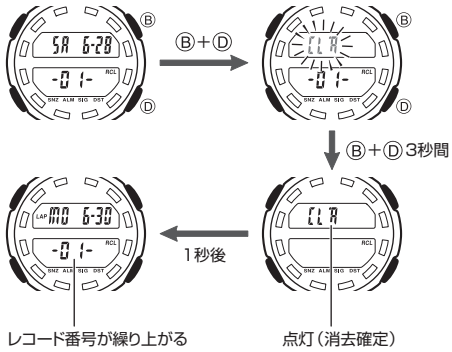


■レコードの消去

1. リコールモードのとき、消去したいレコードを表示させます



2. Ⓑ と Ⓓ ボタンを押して、「CLR」の表示が点滅から点灯に変わるまで待ちます



※レコードが消去されると、消去されたレコードより後ろに記録されているレコード番号は一つずつ繰り上がります。
例：レコード番号02を消去すると…レコード03→02

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で24時間までセットすることができ、セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。



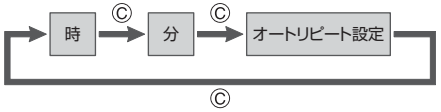
2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。





3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順 2.～3. の操作を繰り返して、時・分およびオートリピート設定をセットします。

※セット時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。

※オートリピート設定はⒹ ボタンを押すごとにリピート(OF)とオートリピート(On)が切り替わります。オートリピートを設定したときは、タイマーモードで“↻”が点灯します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



●計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
●ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

★タイムアップになると
セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

★鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

デュアルタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、時刻モードの現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。
※デュアルタイムの「秒」は現在時刻の「秒」に連動しています。
※現在時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■ デュアルタイムのセット

1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

➡ サマータイム設定となり、DSTマークとOnまたはOFが点滅します。



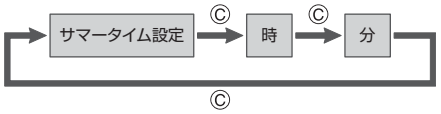
2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。





3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順 2.～3. の操作を繰り返して、サマータイム設定および時・分をセットします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※サマータイム設定は、Ⓓ ボタンを押すごとにOn（オン）とOF（オフ）が切り替わります。Onのときはデュアルタイムモードで DST マークが点灯します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



★サマータイム（DST）について
サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラーム・時報について

●通常アラーム（アラーム 1 ～アラーム 3）

設定した時刻になると約 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（アラーム 1 のみ）

スヌーズ機能をオンにすると、設定した時刻に約 10 秒間の電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

※基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1 回のみ報音を行ないます。

●時報

毎正時（00分のとき）に “ピッピッ” と電子音が鳴ります。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

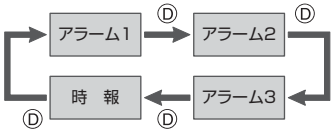
アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラームを選びます。



アラーム番号



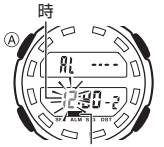
2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※ アラームオンマーク “ALM” が点灯し、自動的にアラームオンになります。

※ アラーム 1 がスヌーズアラームONのときにセット操作を行なうと、スヌーズ機能はOFFになります。



アラームオンマーク

3. セット箇所を選ぶ

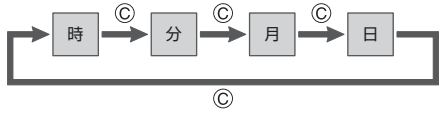
Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。

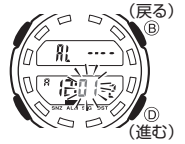


分



4. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。

※「月」をセットしないときは “－” を、「日」をセットしないときは “－－” を表示させます。

手順 3. ～ 4. の操作を繰り返して、時・分、月・日をセットします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※時刻モードの現在時刻を 24 時間制表示にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制表示になります。

※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らす：「時・分」のみセット
指定月に毎日鳴らす：「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす：「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす：「月・日・時・分」全てセット

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

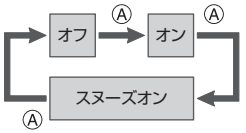
アラームモードでⒹボタンを押して、設定したいアラームまたは時報を選びます。

Ⓐ ボタンを押します



➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、以下のようにアラームまたは時報のオンとオフが切り替わります。

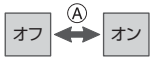
・アラーム 1





スヌーズオンマーク

・アラーム 2 ／ 3 ／時報





時報オンマーク

★モニターアラーム

アラームモードでⒹボタンを押し続けると、押している間アラーム音が鳴ります。

★鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

●スヌーズアラームのときは

- スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します。（スヌーズ中は “SNZ” が点滅します）
- スヌーズアラームのときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラームが中断されます。
  - ・アラーム 1 を「アラーム・時報の ON／OFF 設定」にしたがいオフにしたり、通常のアラームに切り替えたとき。
  - ・アラームモードでアラーム1をセット状態にしたとき。
  - ・時刻モードで時刻セット状態にしたとき。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部の合わせ方

●秒合わせ

月に１度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡「秒」が点滅します。



2. 秒を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



★サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

★ 12／24時間制表示切替え

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、12時間制表示（A/P）と24時間制表示が切り替わります。



■ アナログ（針）部の合わせ方

アナログ部とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

※「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ハンドセット（針合わせ）モードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡現在時刻が点滅して、セット状態になります。



2. アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を１ステップか２ステップ進めてください。



★針の自動早送り

Ⓓ ボタンを押し続けている間（早送り中）、Ⓑ ボタンを押すと、ボタンを離しても針が自動的に早く進みます。

・いずれかのボタンを押すと針が止まります。
・時針が一回りすると早送りが止まります。
・針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。

●時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡「秒」が点滅します。



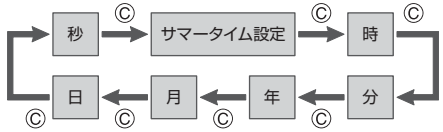
2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。





3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに１つずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順 2.～3. の操作を繰り返して、サマータイム設定および時・分・年・月・日をセットします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットでき、年・月・日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※サマータイム設定は、Ⓓ ボタンを押すごとにOn（オン）とOF（オフ）が切り替わります。Onのときは時刻モード、アラームモード、ハンドセットモードでDSTマークが点灯します。